

語られないトラウマと当事者と支援者

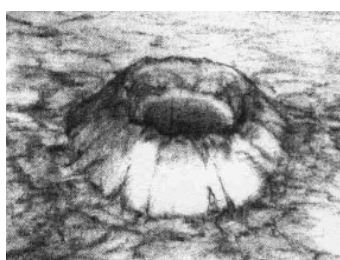
～環状島モデルをもちいて

講師 宮地尚子さん (一橋大学大学院教授、精神科医)

Freedom 薬物依存電話相談平成 21 年度事業

2010 年 1 月 23 日 (土)

13:00~16:30 受付 12:30



【会場】

新大阪丸ビル新館 602 号室
(大阪市東淀川区東中島 1 丁目 18 番 27 号)

【参加費】

500 円

【問い合わせ】

Freedom

06-6320-1463

当日は不通です

※この研修会は、平成 20 年 10 月に実施された共同募金配分金を受けて実施されます。住民、寄付者のみなさまに感謝いたします。

薬物依存からの回復は自分が薬物依存者であるということを確認した時から始まる。回復者というアイデンティティがもたらす恩恵は大きいですが、やがてそれがときに重くのしかかってくる場合もある。

当事者とは？

支援者とは？

語られないトラウマとは？

「環状島＝トラウマの地政学」の著者宮地尚子さんを講演者として迎えるとともに、当事者性をめぐるポジショナリティやアイデンティティについて、HIV/エイズコミュニティソーシャルワーカーのブブ・ド・ラ・マドレーヌさん、大阪ダルクより倉田智恵が加わり座談会を繰り広げます。

<タイム・テーブル>

12:30

開場

13:00

ごあいさつ

13:10~14:40

講演

「語られないトラウマと

当事者と支援者」

宮地尚子さん

14:40~15:00

休憩

15:00~16:30

座談会

「当事者の立場支援者の立場」

<話者>

ブブ・ド・ラ・マドレーヌさん

倉田智恵さん

<コメンテーター>

宮地尚子さん

<司会>

倉田めば

プロフィール

宮地尚子さん 一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻・教授。精神科医師。医学博士。1986

年京都府立医科大学卒業。1993年同大学院修了。1989年から1992年、ハーバード大学医学部社会医学教室および法学部人権講座に客員研究員として留学。1993年より近畿大学医学部衛生学教室勤務を経て、2001年より現職。専門は文化精神医学、医療人類学、ジェンダーとセクシュアリティ。著書に『異文化を生きる』（星和書店、2002）『トラウマの医療人類学』（みすず書房、2005）、編著に『トラウマとジェンダー——臨床からの声』（金剛出版、2004）、共著に『文化精神医学序説』（金剛出版、2001）など。訳書にはコーエン『多重人格者の心の内側の世界』（監訳、2003）、ガートナー『少年への性的虐待——男性被害者の心的外傷と精神分析治療』（ともに作品社、共訳、2005）他がある。

ブブ・ド・ラ・マドレーヌさん 現代美術作家／HIV／エイズコミュニティソーシャルワーカー

1961年生まれ。30歳から40歳すぎまで風俗産業で働く。同時に、HIV／エイズにかんする予防啓発活動に携わる。風俗の仕事もエイズにかんする活動も、どちらも自分にとって必要不可欠のものだったが、驚かれたり同情されたり怖がられたり、必要以上に尊敬されたりすることに困惑と苦痛を感じて来た。それらに対する怒りは主に映像やパフォーマンス等の作品として表現することが多い。堂山にあるコミュニティスペース・ディスタ（公民館のようなもの）で週に2日、エイズやセックスにかんする相談にもものっている。

倉田智恵さん ダルク女性ホーム大阪代表／なかまの家代表

2003年女性の薬物依存者のための施設である「ダルク女性ホーム大阪」を設立。サポートを続けている。最近女子刑務所の薬物依存改善指導に頻繁に協力をし、2009年、岩国刑務所から【社会を明るくする運動】において感謝状を贈られた。

<会場地図>



住所

大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-27
新大阪丸ビル新館

最寄駅

「新幹線・JR新大阪駅」1 東口出口より 徒歩 3分
(新大阪駅の改札をでて、そのまま左に歩いていくと、東口出口につきます♪)

* 新大阪丸ビル新館のほうです。お間違えのないように